

川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト

令和5年度

# 子どもたちが創る 未来の中川運河づくり事業

実 施 報 告



# 1 概要

## 目的

50年、100年後に中川運河の水辺が沿岸住民の生活空間の一部となることを目指し、次の時代を担っていく子どもたちに中川運河に足を運んでもらい、将来の姿を思い描く機会を設け、子どもの想いを未来の中川運河づくりにつなげる。

## 対象

周辺3学区（広見、愛知、露橋）の小学校4～6年生

※緑の回廊、体験プログラム（電子植物）、ワークショップ、インスタレーションは学年制限なし

## 会場

広見憩いの杜、小栗橋横ポケットパーク等

## 運営・協力

- 市上下水道局 露橋水処理センター
- 愛知大学（学生8名）
- 市住宅都市局、名古屋都市センター、名古屋港管理組合



## 2 実施結果

# 1

### 緑の回廊の設置

### 『中川運河の未来に種をまこう!中川運河「緑のトンネル」プロジェクト』

#### 内容

- 緑の回廊を設置し、参加者がきゅうり、ゴーヤー、トマト等を苗植え
- 実った作物は、苗植え参加者や来場者が収穫
- 緑の回廊の内部に運河について学ぶパネルを展示



#### 日時

苗植え：令和5年5月13日（土） 10：00～11：00  
収 穫：令和5年8月 5日（土） 10：00～10：30

#### 場所

広見憩いの杜

#### 参加者数

苗植え：14人  
収 穫：12人

#### 運営・協力

岩間造園株式会社

#### 参加者満足度

- 100%
- 自然と向き合えるイベントで、とても勉強になった
  - 知らない野菜や自分が好きな野菜がたくさんとれて楽しかった



## 2 中川運河 夏の体験プログラム① 『水中ドローンで中川運河の水の中を観察しよう!』



### 内容

- 参加者が水中ドローンを操作し、中川運河の水の中観察を実施
- 中川運河の生き物について、市環境科学調査センターの講師がレクチャー
- 水処理センター施設見学を通じて、運河の水質改善の取り組みを学ぶ

### 日時

令和5年8月7日(月) 9:00~12:00

### 場所

広見集会所・広見憩いの杜・露橋水処理センター

### 参加者数

18人

### 運営・協力

- 株式会社アルタバディマリン(水中ドローン運営)
- 市環境科学調査センター(講師)
- 市上下水道局 露橋水処理センター(施設見学)〈再掲〉



### 参加者満足度

- 100%
- 初めて水中ドローンを体験し、新鮮で楽しかった。赤潮のことや、見学では仕組みを知ることができ、良かった
  - 露橋水処理センターの見学や、ドローンの操作ができてうれしかった
  - 普段行かない場所に行けて良かった



## 3 中川運河 夏の体験プログラム② 『船上・地上から中川運河を見てみよう!』

### 内容

- 水陸両用バスで中川運河周辺のスポット(松重閘門等)を見学後、中川運河の終点である名古屋港で進水し遊覧
- クルーズ船に乗り換え、東支線を経由し、堀止まで中川運河を遊覧

### 日時

令和5年8月9日(水) 9:00~12:00

### 場所

集合: 広見憩いの杜 解散: 堀止緑地

### 参加者数

29人



## 運営・協力

- NPO 法人伊勢湾フォーラム (ガイド (陸上・クルーズ船))
- 鯨バス株式会社 (水陸両用バス運行・ガイド (海上))
- 東山ガーデン株式会社 (クルーズ船運航)

## 参加者満足度

100%

- マリンライダーに乗って海に入って見学できたのが楽しかったし、船に乗って中川運河を見学できたのがうれしかった
- 案内の方が分かりやすく説明してくれた。中川運河や港に行けて良い経験になった
- 友達と一緒に景色を見られて良かった



# 4 中川運河 夏の体験プログラム③ 『水で光る電子植物をつくろう!』

## 内容

- 水との化学反応で光の花を咲かせる人工植物をワークショップで制作
- 制作した人工植物は (7) インスタレーションで点灯

## 日時

令和5年8月 8 日 (火) ①9:00~10:30 ②11:00~12:30  
令和5年8月10日 (木) ①9:00~10:30 ②11:00~12:30

## 場所

露橋水処理センター

## 参加者数

令和5年8月 8 日 (火) ①15人※あいち学童 ②14人  
令和5年8月10日 (木) ①12人 ②11人

## 運営・協力

- LIBERGRAPH
- 市上下水道局 露橋水処理センター (施設紹介)〈再掲〉
- 愛知大学 (運営補助)〈再掲〉

## 参加者満足度

97%

- 科学の要素とアートの要素があり、色んなことを学べた
- 友達と楽しく電子植物を作れて良かった



# 5

## 運河の将来像・理想像について考える場(ワークショップ)

### 『この夏は緑のトンネルで中川運河を学ぼう!』

<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑の回廊に設置したパネル等を使用して参加者が中川運河について学び、理想の運河像について考える。</li> <li>● 参加者が考えた理想の運河像を「集まれ!みんなが創る中川運河未来図」パネルに集約</li> </ul>
<b>日時</b>	令和5年8月5日(土)～13日(日)・18日(金)・25日(金) 9:00～13:00〈自由参加〉
<b>場所</b>	広見憩いの杜 
<b>参加者数</b>	151人(うち、パネル見学者数74人) 
<b>運営・協力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛知大学(運営補助)〈再掲〉</li> <li>● 亀井明日美氏(『中川運河チャンネルサイドパーク』模型・パネル提供)</li> </ul>



### 『集まれ!みんなが創る 中川運河未来図』に寄せられた主な意見

ジャンル	意見「こんな中川運河になって欲しい!」	ジャンル	意見「こんな中川運河になって欲しい!」
水質改善・生き物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水質が改善し、生物が住みやすい環境になり、魚や鳥が増える</li> <li>● 運河沿いのゴミが減り、きれいになり、心が安らぐ場所</li> <li>● 自然が盛りたくさん</li> </ul>	アトラクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 丸太やいかだで遊べる場所</li> <li>● 子どもから大人までが遊べる場所</li> </ul>
観光・にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内外のたくさんの人が集まる観光地</li> <li>● 活気があふれ、にぎやかに</li> <li>● 船で観光スポットを巡ることができる</li> <li>● おしゃれなカフェやショップがあり、交流できる</li> </ul>	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水上スポーツ(ボート等)の拠点</li> <li>● 水泳できる</li> </ul>
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅広い世代が安心・リラックスして過ごせる平和な空間</li> <li>● 地域の人に愛され、笑顔で気軽に交流できる場</li> </ul>
		夏	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暑い夏に涼しく過ごせる。夏に遊べる</li> </ul>

# 6

## 運河の将来像・理想像について考える場(ウォールアート)

### 『未来の中川運河を描こう』

<b>内容</b>	● (5) ワークショップの参加者等が考えた理想の運河像の意見等を集約し、アーティストと参加者が共同で「未来の中川運河」をテーマにウォールアートを制作
<b>日時</b>	令和5年8月25日(金) 9:00～12:30 
<b>場所</b>	小栗橋横ポケットパーク 
<b>参加者数</b>	12人

## 運営・協力

- 河野ルル氏、株式会社ubies（アーティスト、マネジメント）
- 一般社団法人中川運河チャンネルアート、日本ペイント株式会社（ポケットパークの清掃、下地作り）
- 愛知大学（運営補助）〈再掲〉
- 小澤勝志氏、谷本敦氏（アーティスト紹介、運営補助等）



## 参加者満足度

- 100%
- 壁に絵を描くことができ、楽しかった
  - 途中で雨が降ったが、雨で遊んだり、鬼ごっこなどをしてみんなが友達になれて良かった



完成したウォールアート「Nakagawa Water Park」

# 7

## インスタレーション(お披露目イベント)

### 『中川運河の未来に種をまこう!中川運河光と音の広場』

## 内容

- (4) 体験プログラムのワークショップで制作した人工植物に水をかけ、光と音で彩られた運河の空間を楽しむ
- (6) のウォールアートをお披露目し、アーティストのトークや、愛知大学の学生によるそれぞれの理想の運河像についての発表、記念撮影を実施
- 子ども向けアトラクションとして、アップサイクルを体験できる缶バッジ作り体験「世界にひとつだけの缶バッジをつくろう!」や、水を使ったコイン落としゲーム、ナッピーとのふれあいを実施



## 日時

令和5年9月2日(土) 18:00~20:00〈自由参加〉

## 場所

広見憩いの杜・小栗橋横ポケットパーク



## 参加者数

336人  
(広見憩いの社会場への来場者数。別途、小栗橋横ポケットパーク会場には90人程度が来場)

## 運営・協力

- LIBERGRAPH（電子植物インスタレーション）
- 河野ルル氏、株式会社ubies（ウォールアートお披露目）
- 愛知大学（ウォールアートお披露目、運営補助）〈再掲〉
- 株式会社近藤印刷（缶バッジ作り体験）



©LIBERGRAPH

# 川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクトの軌跡

令和3年度

## 前田利家公がつなぐまちづくり

### ①「利家ロード～槍の又左と歩む道～」の整備

- 街園を舗装し、歩行者用の道として整備。  
名古屋学芸大学と連携し、利家公出世への足跡を示す歴史絵巻風プレート（戦いの図と解説）を設置
- 名称は公募で、区民投票で決定

### ②開通イベントの実施



令和4年度

## 戸田の伝統文化がつなぐまちづくり

### ①伝承の記録

戸田祭りの歴史や、令和4年に開催された大祭の練習から本番の山車揃えの様子、保存会の皆さんの戸田祭りに対する想いをインタビューし、映像化

### ②戸田祭り魅力案内板の設置

山車蔵のある5つの神社にからくりの映像が見られる二次元コードをつけた案内板を設置

### ③まち歩きイベントを通じた魅力発信

5つの神社をめぐる「戸田まちなか散歩スタンプラリー」を実施(300名参加)

